TAC（タック）の家庭菜園教室

ＴＡＣ（タック＝営農経済渉外）が家庭菜園を行う際のポイントや注意点などを
じっくり分かりやすく解説いたします！

土づくりは栽培の基本!

植物は土の中に根を伸ばし、養分や水分を吸収して生長します。硬い土では根の伸長が妨げられ、植物の生育に大きく影響してしまいます。そこで、土壌を改良して根が張れる環境を整える「土づくり」が必要となります。

土づくりのポイントは、通気性や排水・保水性の確保です。落ち葉やワラなどを発酵させた堆肥等の有機物を施して適度な通気性、透排水性を保ちましょう。

作物にはそれぞれ適した酸度があります。土壌中の酸度が偏ってしまうと養分がうまく吸収できなくなってしまうことがあるので、苦土石灰などを施して酸度を中和することも必要です。

一般的に野菜類の栽培には、概ねpH 5.0～7.0 の弱酸性から中性が良いとされていますが、作物を栽培していると土の中の養分バランスが崩れたり、酸度が偏ったりしてしまいます。そこでオススメなのが「土壌診断」です。 数年に一度で良いので、土壌の養分状態を測って、不足した養分を補給しましょう。 土づくりにおける資材等の適切な投入量が分かるので、施肥コストの削減にもつながり、また、土壌中の成分バランスが整うことで収量や品質の安定・向上が期待できます。

土壌診断をご希望の方は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お申込み・お問い合わせ

JA足利 営農振興課 ☎0284-22-4433（担当:TAC） 経済課 ☎0284-70-3071
または 北支店（経済）☎0284-43-8880　西支店（経済）☎0284-65-1139

耕そう、大地と地域のみらい。JAグループ